

スポーツ雑誌の歴史と現状

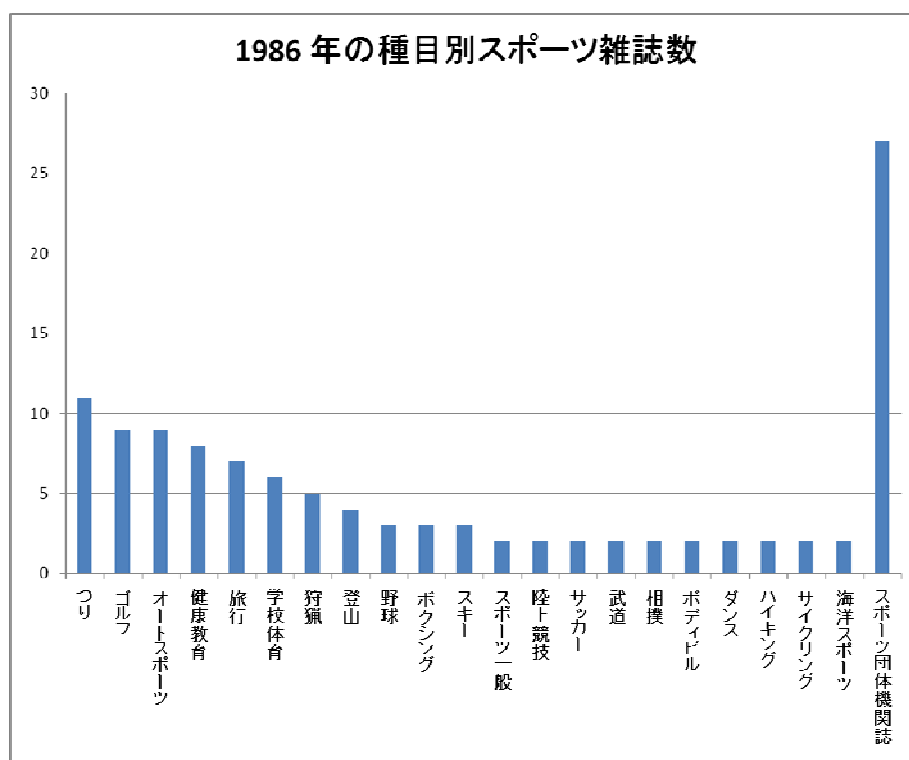
09L4053 藤原 史依

1. スポーツ図書館

体育系大学はスポーツ図書館と呼ぶことができるが、独立したスポーツ図書館は、秩父宮記念スポーツ図書館（東京）がよく知られている。ここに訪問して、スポーツ雑誌の調査をおこなった。受入雑誌は約 125 誌で、購入または寄贈により収集している。

2. 日本における体育・スポーツ雑誌の歴史

日本におけるスポーツ雑誌の歴史については、上智大学の伊東明氏が、1969 年に網羅的に調査している。それによれば、最初のスポーツ雑誌は、明治 30 年から明治 33 年まで出版された運動界であるとされている。1986 年時点で発行されていたスポーツ雑誌は 82 種であった。

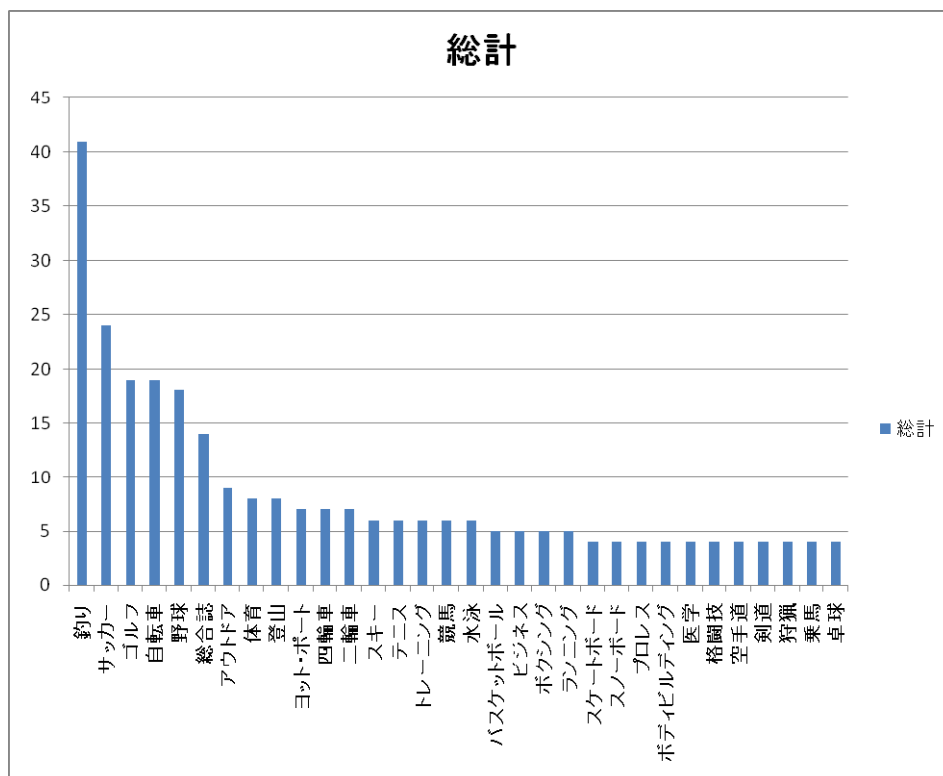


3. 現在発行されているスポーツ雑誌の調査

現在発行されているスポーツ雑誌を調査した。まずウィキペディアの「スポーツ雑誌」の項から雑誌を調べ、次に秩父宮記念スポーツ図書館蔵書誌リストと対照した。さらに Weekly 雑誌ニュース (<http://www.digital-zasshi.jp/>) で補足した。また、抜けていると思

われる分野については随時ウェブで調査をおこなった。その結果 362 誌が確認できた。

これらの雑誌について国立国会図書館に所蔵 (NDL-OPAC) されているものを調査したところ、273 誌あった。これにより、ローカルな同人誌的なものは除かれたと思われる。さらに NDL-OPAC で創刊年や刊行頻度なども調査した。



また、典型的なスポーツ雑誌について、掲載されている記事を比較した。

4. 今後のスポーツ雑誌

スポーツ雑誌は野球・サッカー・ゴルフ・釣りなど、スポーツの流行に左右される。今後どのスポーツに人気が出るか注目される。また、学校スポーツの影響もある。中学校の必須科目として、ダンス、武道が追加されたことにより、既存・新規雑誌への影響が考えられる。